

令和6年度 第1回社会教育委員会議 概要

日 時： 令和6年7月8日（月）午後1時30分～4時30分

場 所： 逗子市役所5階 第2会議室

出 席： 角田(進)委員（議長）、安宅委員、石渡委員、上野委員、出村委員、内田委員、
石委員、佐藤委員、角田(梨)委員、桑原委員、池谷委員、荻村委員、

欠 席： 愛委員、磯野委員

事務局： 社会教育課 佐藤課長、青山係長、日高主査

市民協働課：新倉次長、小野田係長、北村主事補

傍聴者： なし

資 料：

- | | |
|--|---------|
| 1 令和6年度逗子市社会教育委員名簿 | |
| 2 共に学び、共に育つ、共育のまち推進プラン・生涯学習活動推進プラン・社会教育推進プランに係る事業の資料並びに逗子市生涯学習・社会教育推進プラン実施状況報告書（案） | 【議題1】 |
| 3 逗子市教育委員会機構図 | 【報告2】 |
| 4 令和6年度社会教育委員会議 年間予定表 | 【議題2・3】 |
| 5 令和6年度神奈川県社会教育委員連絡協議会 事業計画（案） | 【議題2・3】 |
| 6 令和6年度社会教育課主催講座実施計画 | 【議題4】 |

●開会

●委員、事務局紹介

●資料確認

●報告事項（1）生涯学習・社会教育推進プランの策定について

○市民協働課より説明。

逗子市生涯学習・社会教育推進プランの位置づけの説明と、プランの推進体制の内、委員に進捗管理を行う旨を依頼した。

●議題（１）共に学び、共に育つ、共育のまち推進プラン・生涯学習活動推進プラン・
社会教育推進プランに係る事業について

○事：事務局より示された統合前プラン（令和５年度）の実施状況の報告に対し、委員の方々にご意見を伺いたい。

○委：基本方針が三つ挙げられているが、学びの機会の充実に焦点を多く充てているように思う。学びの分野・内容・市民のニーズについてはどう考えているのか。

○事：学びのニーズなどは、学習機会提供による社会教育の推進に位置付けている。どのようなものを選ぶかは、前年度の事業の実施状況や、講座ごとにアンケートを取って参加者から要求をくみ取るなどをし、また現代的課題などは社会的状況を踏まえながら適宜行っている。

○委：障がい者の生涯学習について、手話通訳や要約筆記などを用いるなど、障がい者が参加しやすい講座を考えてもらいたい。

○事：「プランとSDGsの関係」の中でも述べているが、「誰一人として取り残さない」生涯学習・社会教育の推進を掲げている。現時点でも講座の募集時に手話通訳、要約筆記、託児の対応を基本としている。

○委：逗子に住み始めて４年目だが、逗子はいいい意味でイベントが多く活力のある街だと思う。できればもっと海・山の自然を打ち出した、逗子ならではの独自性がある企画を望む。

○委：評判が良かった講座を学校の授業などに組み込むことは可能か。

○委：地域と学校教育の連携などはどうしているのか。

○事：いきなり学校のカリキュラムに組み込む事は難しいが、今後コミュニティスクールの

設置に動いていく中で（現在でもそうであるが）地域の方々と意見交換をし、子どもたちの積極的な参加を促していくなど、連携を深めていく。

※ここで事務局より、統合した後のプランにおける実施状況の報告用の様式などを説明。

○市民協働課 退席

●報告事項（２）教育委員会人事異動について

○事務局より説明。

特に目立った人事異動は無し

●報告事項（３）教育委員会定例会について

○事務局より説明。

今回は社会教育に関する議題は無かったが、今後も社会教育委員会議で報告していく。

○事務局よりその他、報告。

神奈川県社会教育委員連絡協議会総会での協議会予算承認、令和７年度 第 56 回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会実行委員会の第２回研究部会が開催されたことを報告。

●議題（２・３）令和６年度社会教育委員会議年間予定・令和６年度神奈川県社会教育委員連絡協議会年間予定について

○事務局より今後の日程候補日の都合を確認・説明。

●議題（４）令和６年度社会教育課主催講座について

○事：今年度の講座事業を進めるにあたって、委員から意見や講座の提案など伺いたい。

○委： 社会教育委員から提案された講座には、どの様なものがあったのか。

○事： 前年度は家庭教育の区分で子どもの居場所関連の例があった。委員から提案をいただいた後、事務局が日程など調整を進めたが、本講座については、社会教育委員にお力添えをいただいたおかげで実現したものと認識している。

○委： 逗子の環境を楽しむ参加型の講座や、子どもたちに平和を学習する機会を持ってもらう講座を希望する。

○委： 歴史系など高齢者向けの講座が多く見受けられる。各種講座の内容の割り振りはどのように決めているのか。

○事： 社会教育講座ほか各種講座は予算との兼ね合いの中で決定している。家庭教育講座・人権教育講座などは若い世代から幅広い世代に向けている。出張講座は生涯学習のきっかけ作りとして、趣味・教養など市民のニーズに応える内容が多い。また、本年度は市制 70 周年という事もあり歴史に関する講座が多くなっている。

○委： 地域課題として逗子市の子どもたちの未来や学校との連携をどう考えていくのか。高齢者と若い世代を繋ぐような講座や、オンラインでの講座も必要だ。

○委： 講座を評価する上で参加者のアンケートは非常に有効だ。特に自由記述の欄は貴重な意見もあり大事なので今後も設けてほしい。

○事： 家庭教育講座などでオンライン講座や録画配信は既に実施している。逗子市の講座をどのようにしていくか、この会議で様々な意見や評価を頂きながら進めていく。

●その他

次回、第2回教育委員会議は、9月20日（14時30分～）に開催。

●閉会